



～鎌倉生まれ・鎌倉育ちのお菓子「鳩サブレ」に採用～ 豊島屋と共同で環境に配慮した「紙パッケージ」を開発

日本製紙株式会社(代表取締役社長:野沢 徹、以下「当社」)は、株式会社豊島屋(代表取締役社長:久保田 陽彦、以下「豊島屋」)と共同で紙パッケージとパルプモールドを開発し、豊島屋が販売するお菓子「鳩サブレ」の新パッケージに10月から順次採用されます。

豊島屋は、「すべての人が笑顔になるために…」との理念のもと、鎌倉を中心に神奈川県・東京都内などで展開している老舗のお菓子メーカーです。環境や社会に配慮する取り組みにも力を入れており、紙パッケージで使い捨てプラスチック使用量を削減します。

ピロー包装、緩衝材、仕切りトレイを全て紙化し、使い捨てプラスチック使用量を年間約100トン※削減することになります。(※想定値)

<パッケージの特徴>

紙箱(外装): 当社「JETスターF」を使用し、マイクロシシ加工を施した再封機構付きです。
責任ある木材資源を使用した森林認証「FSC」を取得した紙のパッケージです。

ピロー包装(外装)・緩衝材: 当社「白銀F」を使用した包材です。
責任ある木材資源を使用した森林認証「FSC」を取得した紙のパッケージです。

中敷きトレイ: 紙箱と缶容器で使う仕切りトレイは植物由来のバガス素材のパルプモールドです。



(写真提供: 豊島屋)

本件に関するお問い合わせ
日本製紙株式会社 白板・包装用紙営業本部
容器・パッケージ部長 山本 宏
(TEL 03- 6665- 5652)

以上